

神経内科

北野病院神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。脳血管障害、急性意識障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、神経専門医が 24 時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。放射線科の協力により緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部 MRI が撮影できる体制があり、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法 (t-PA 治療) も適応を厳密に判断した上で行い、血栓溶解療法が無効例に対しては引き続き血管内血栓除去療法も脳卒中センターとして施行している。またパーキンソン病、脊髄小脳変性症、重症筋無力症などの神経難病患者の受診数が関西で有数に多い施設であり、パーキンソン病については薬物療法に加え脳神経外科と共同で手術的治療 (定位脳手術: 視床下核脳深部刺激術など) を行い良好な成績を得ている。重症筋無力症については呼吸器外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行っており、周術期の薬物治療を神経内科が担当し良好な成績を得ている。さらに認知症の診断、てんかんの診断・治療、神経免疫疾患 (CIDP、自己免疫性脳炎など) に対する γ グロブリン療法など多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。教育啓蒙活動としては、毎冬に松本主任部長のビデオセミナーを開催している。医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究や京大 iPS 研究所との連携でパーキンソン病に対する細胞移植療法モデルを用いた神経科学的研究を行っている。

体制

主任部長

松本禎之

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、京都大学臨床教授 (神経内科学)、関西医科大学臨床教授 (神経内科学)、日本神経学会評議員、日本神経病理学会評議員、日本神経学会専門医

副部長

里井齊

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会認定医

副部長

斎木英資

専門: パーキンソン病、パーキンソン病の定位脳手術

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

副部長

梶 勇人

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医

副部長

小松研一

専門: 神経内科全般,

資格等: 日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医

副部長

中川朋一

専門： てんかん、神経内科全般

資格等： 日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

レジデント 長尾茂人

資格等：日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

レジデント 中村 敬

レジデント 細木聡

資格等：日本内科学会認定医

レジデント 寺田祐太

レジデント 橋本泰昌

診療実績

	年間入院患者数	平均在院日数
脳血管障害	240	20.3
パーキンソン病関連疾患	216	18.9
中枢性脱髄疾患	50	18.3
てんかん	42	10.7
末梢性神経障害	27	17.2
神経感染・炎症	32	17.6
中枢神経変性疾患	59	22.7
認知症疾患	25	26.1
その他の神経・筋疾患	95	14.5

研究課題

1. ヒト ES 細胞、ヒト iPS 細胞、カニクイザル iPS 細胞とカニクイザルパーキンソン病モデルを用いた神経再生治療研究（齋木英資）（京都大学再生科学研究所と共同研究）
2. 視床下核脳深部刺激療法における精神症状の検討（齋木英資）
3. 脳深部刺激療法における適応検討アルゴリズムの作成と検討（齋木英資）
4. パーキンソン病における運動症状および非運動症状の頻度調査と QOL に及ぼす影響に関する多施設共同研究（齋木英資）
5. パーキンソン病患者における衝動制御障害の調査研究 --- 多施設共同研究（齋木英資）
6. 心原性脳塞栓症と心不全マーカーとの retrospective な検討（里井 斉）

7. 冠動脈石灰化と脳梗塞についての検討(里井斉、梶勇人)
8. 神経内科入院患者における脳卒中データベースの構築 (里井斉)
9. 神経内科訪問診療における病診連携の検討 (梶勇人、松本禎之)
10. MR I トラクトグラフィ法を用いたパーキンソン病の皮質基底核ループの検討 (梶勇人) (京都大学医学部脳機能総合研究センターと共同研究)
11. 単神経障害の成因の検討 (小松研一)
12. 多系統萎縮症における呼吸障害の検討 (小松研一)
13. 後方循環の脳梗塞における椎骨動脈病変の検討 (小松研一)
14. 新規抗てんかん薬のてんかん重積に対する有用性の検討 (中川朋一)

研究実績

学会・研究会発表、講演

1. **H. Saiki and S. Matsumoto** Adenosine A2A receptor antagonist istradefylline can be more beneficial in Parkinson's disease patients of advanced stage without troublesome dyskinesia The Movement Disorder Society's the 19th International Congress 2015-06-10 San Diego, USA
2. **H. Saiki** Improvement of cognitive function after the endpoint of DASH-PD study (donepezil application for severe hyposmic Parkinson disease), a case report The XII World Congress of Neurology 2015-11-01 Santiago, Chile
3. 寺田祐太、小松研一、松本禎之 ネーザルハイフローで CO2 ナルコーシスから回復した脳幹梗塞の一例 第 33 回日本神経治療学会総会 2015 年 11 月 28 日、名古屋国際会議場 (名古屋市)
4. 中村 敬、梶 勇人、橋本泰昌、寺田祐太、細木 聡、長尾茂人、小松研一、中川朋一、里井 斉、齋木英資、松本禎之 パーキンソニズムを契機に HIV 脳症の診断に至った一例 日本神経学会第 102 回近畿地方会 2015 年 7 月 4 日、大阪国際会議場 (大阪市)
5. 中村 敬、梶 勇人、橋本泰昌、寺田祐太、細木 聡、長尾茂人、小松研一、中川朋一、里井 斉、齋木英資、松本禎之 中心暗転を伴った Wernicke 脳症の 1 例 日本神経学会第 103 回近畿地方会 2015 年 12 月 12 日、千里ライフサイエンスセンター (豊中市)
6. 寺田祐太、小松研一、橋本泰昌、細木 聡、中村 敬、長尾茂人、中川朋一、梶 勇人、里井 斉、齋木英資、松本禎之 ネーザルハイフローで CO2 ナルコーシスから回復した脳幹梗塞の一例 日本神経学会第 104 回近畿地方会 2016 年 3 月 6 日、千里ライフサイエンスセンター (豊中市)
7. 梶 勇人、我妻 敬一、田中 規文、齋木 英資、松本 禎之 神経内科医による進行期神経難病患者の訪問診療の現状 第 9 回パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS 2015 年 10 月 17 日
8. 梶 勇人 結膜充血の軽微な CCF の 2 症例：脳血管画像の検討 北大阪臨床研究会 2015 年 4 月 (大阪市)
9. 梶 勇人 進行期パーキンソン病診療における諸問題 -case study- Parkinson's Disease Forum in Osaka City 2015 年 11 月 20 日 (大阪市)
10. 梶 勇人 通院困難な神経難病患者の訪問診療の取り組み ハッピーフェイスセミナー in 大阪 2016 年 2 月 19 日 (大阪市)
11. 小松研一 急性の右手の運動障害で発症した 57 歳男性 第 126 回大阪神経内科の集い 2015 年 7 月 1 日、大日本住友製薬本社ビル (大阪市)

12. 小松研一 急性に後頸部に痛みが生じ、四肢の脱力を呈した 66 歳男性 第 127 回大阪神経内科の集い 2015 年 7 月 1 日、大日本住友製薬本社ビル (大阪市)
13. 小松研一 頸椎疾患の画像に関する話題 北大阪総合臨床研究会 2016 年 1 月 15 日、AP 大阪駅前梅田 1 丁目 (大阪市)
14. 長尾茂人 緩徐進行性の小脳失調症を来たした 43 歳男性例 第 128 回大阪神経内科の集い 2015 年 7 月 1 日、大日本住友製薬本社ビル (大阪市)
15. 里井 斉 病診連携報告 2015 北野 stroke forum 2016 年 3 月 24 日 (大阪市)
16. 里井 斉 脳梗塞と動脈硬化について～その予防と対策～ 第 16 回みんなで学ぶ健康法 2015 年 6 月 11 日 (大阪市北区医師会主催 大阪市)
17. 斎木 英資 あらためて考えるパーキンソン病治療戦略 -DBS,再生医療,薬剤治療- 2015 年 04 月 23 日 Parkinson's disease Forum
18. 斎木 英資 古くて新しいパーキンソン病の脳外科療法・定位脳手術の変遷 内科の立場から・効果のある患者さんの選び方、手術後の管理 2015 年 04 月 26 日 愛知県パーキンソン病友の会医療講演
19. 服部 信孝、斎木 英資、久保 紳一郎、前田 哲也 パーキンソン病診察の世界標準を学ぶ —MDS-UPDRS— 2015 年 05 月 20 日 第 56 回日本神経学会学術大会 日本神経学会第 12 回生涯教育セミナー「Hands-on」(新潟市)
20. 斎木 英資、松本 禎之 A clinical study of prognostic factors of gait in Parkinson's disease 2015 年 5 月 22 日 第 56 回日本神経学会学術大会 (新潟市)
21. 斎木 英資 パーキンソン病治療の現在と未来 -薬剤・DBS・再生医療- 2015 年 06 月 26 日 庄内脳神経疾患懇話会
22. 斎木 英資 Controversy 「ドパミンアゴニストを貼付剤にする必要はない」 Yes 2015 年 7 月 3 日 第 14 回釧路ニューロサイエンスワークショップ (釧路市)
23. 斎木 英資 パーキンソン病の基礎と臨床 2015 年 7 月 29 日 扇町パーキンソン病セミナー (大阪市)
24. 斎木 英資 あらためて考えるパーキンソン病治療戦略 2015 年 9 月 17 日 愛媛県 Parkinson's Disease Workshop
25. 斎木 英資 あらためて知るパーキンソン病治療 2015 年 9 月 19 日 第 68 回千里竹藪会学術講演会
26. 斎木 英資、松本 禎之 パーキンソン病患者の歩行機能予後に関連する因子の検討 2015 年 10 月 13 日 第 9 回パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS
27. 斎木 英資 パーキンソン病の手術治療 2015 年 10 月 25 日 第 8 回パーキンソン病勉強会
28. 斎木 英資 パーキンソン病の治療戦略 -DBS と薬物治療の観点から- 2015 年 11 月 13 日 八戸脳卒中研究会
29. 斎木 英資 パーキンソン病患者の運動機能と歩行機能の L-dopa 反応性に関連する因子の検討 2015 年 11 月 26 日 第 33 回日本神経治療学会総会 (名古屋市)
30. 斎木 英資 パーキンソン病の DBS はいつ行うか 2015 年 11 月 26 日 第 33 回日本神経治療学会総会 マラソンレクチャー5 (名古屋市)
31. 中村 敬、斎木 英資、松本 禎之 左側 STN-DBS・両側 GPi-DBS 後に右側 STN-DBS を検討したパーキンソン病の 1 症例 2015 年 11 月 28 日 第 33 回日本神経治療学会総会 (名古屋市)
32. 斎木 英資 脳深部刺激治療の 15 年 -我々はどこに向かうのか?- 2016 年 1 月 23 日 第 55 回日本定位・機能神経外科学会 シンポジウム 5 脳深部刺激療法

その光と影 (仙台市)

33. 齋木 英資 Parkinson 病 2016 年 3 月 13 日 平成 27 年度 日本神経学会東海北陸地区生涯教育講演会 (名古屋市)

論文

1. Funayama M, Ohe K, Amo T, Furuya N, Yamaguchi J, Saiki S, Li Y, Ogaki K, Ando M, Yoshino H, Tomiyama H, Nishioka K, Hasegawa K, Saiki H, Satake W, Mogushi K, Sasaki R, Kokubo Y, Kuzuhara S, Toda T, Mizuno Y, Uchiyama Y, Ohno K, Hattori N. CHCHD2 mutations in autosomal dominant late-onset Parkinson's disease: a genome-wide linkage and sequencing study. *Lancet Neurol.* 2015 Mar; 14(3):274-82.
2. Tabu H, Aso T, Matsushashi M, Ueki Y, Takahashi R, Fukuyama H, Shibasaki H, Mima T Parkinson's disease patients showed delayed awareness of motor intention *Neurosci Res* 2015;95:74-7
3. 長尾 茂人, 近藤 誉之, 中村 敬, 中川 朋一, 松本 禎之 自己免疫性小脳失調症の可能性が示唆された HIV 感染症の 1 例 *臨床神経学* 2016; 56:255-9
4. 猪子 森明, 木村 祐樹, 船迫 宴福, 辰野 健太郎, 小松 研一, 松崎 直美, 松山 高明 脳症を伴った急性心筋炎の 1 例 *日本内科学会雑誌* 2015;104:2241-54
5. 梶 勇人, 齋木 英資 変貌するパーキンソン病治療 運動合併症の発現機序と治療 カレントセラピー 2015;33:984-9
6. 大島 秀規, 齋木 英資 DBS は早期に行うべきである *MDSJ Letters* 2015;8:1-3
7. 松本 禎之 球麻痺症候 今日の診断指針第 7 版 2015